

Zoom開催・見逃し視聴あり

知財・無形資産ガバナンス 実践のためのプレゼンテーションスキル

— 知財・無形資産経営実践への最後の1ピース —

情報機構セミナー

2023年11月14日（火） 13:00～16:30

エスキューブ株式会社 代表取締役

エスキューブ国際特許事務所 所長・弁理士

田中康子

知財・無形資産ガバナンス 実践のためのプレゼンテーションスキル

1. イントロダクション
2. 知財・無形資産ガバナンス実践のためのプレゼンテーションスキル
3. 知財・無形資産ガバナンス実践のためのプレゼンテーションの仕上げ
4. まとめ
5. Q&A



知財・無形資産ガバナンス

● 2021年6月のコーポレート・ガバナンスコード改訂

知的財産への投資等について、自社の経営戦略・経営課題との整合性を意識しつつ分かりやすく具体的に情報を開示・提供することが義務付けられた

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/nlsgeu000005ln9r-att/nlsgeu000005lne9.pdf>

● 知財・無形資産ガバナンスガイドライン

知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン（略称：知財・無形資産ガバナンスガイドライン）Ver. 2.0

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/tousi_kentokai/governance_guideline_v2.html

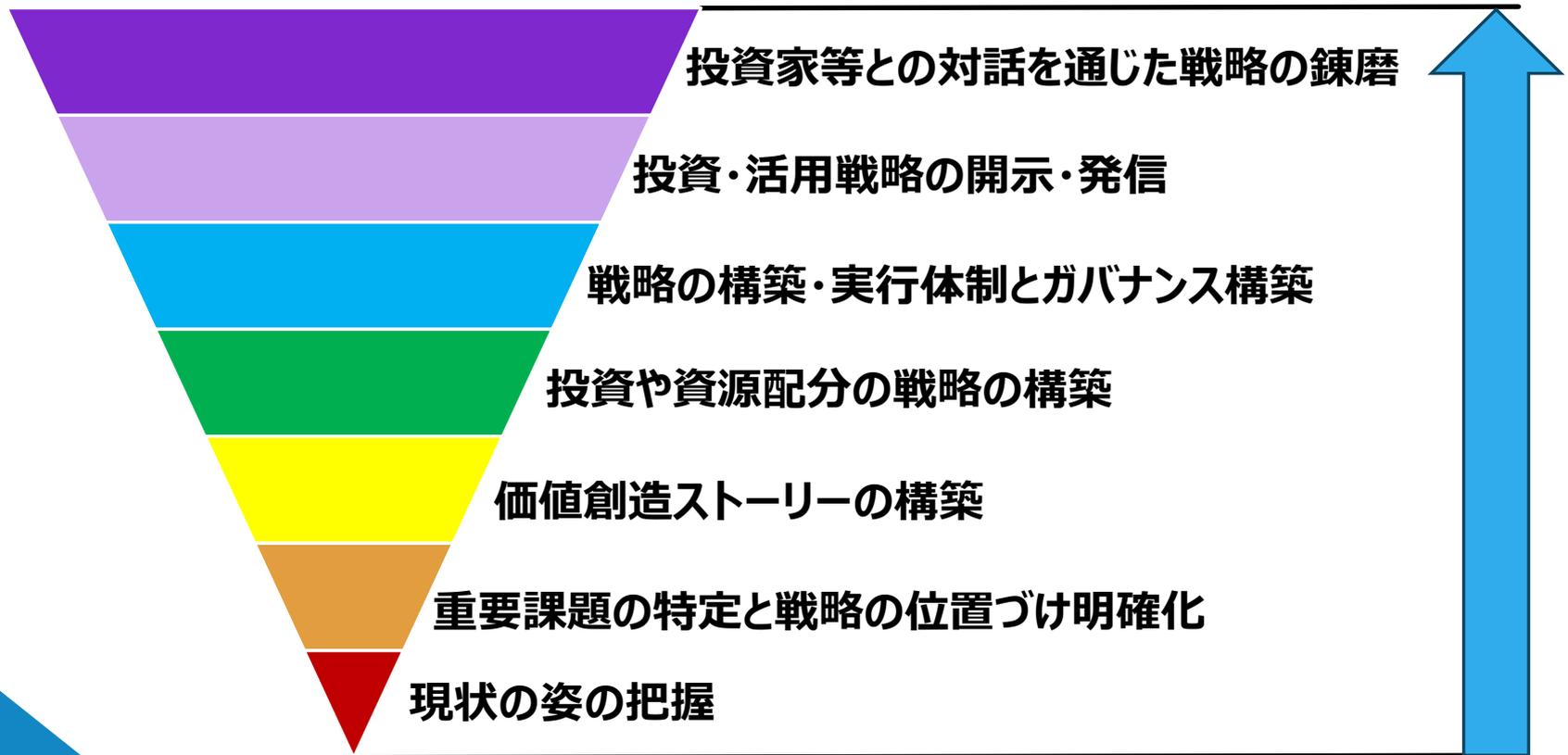
● 突如 知財・法務等の人材に注目集まる

- 専門性の高い、特殊なスタッフ部門
- 従来のジョブディスクリプションに無い素養が求められる

知財・無形資産の投資・活用のための
企業における7つのアクション

知財・無形資産ガバナンスガイドライン
(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/tousi_kentokai/pdf/v2_shiryo2.pdf) に基づき講師作成

目指すべき将来の姿



知財・無形資産ガバナンスを 実践できる人材の育成

知財報告書の作成

IPランドスケープ

プレゼンテーション
スキル

研究会・学会

他社事例の研究

本セミナーの目的

1. “知財・無形資産ガバナンス実践”における
プレゼンテーションスキルの重要性を認識すること
2. 知財・無形資産ガバナンスを実践するための、
**プレゼンテーションスキルを鍛えること、または
プレゼンテーションスキルを研鑽するきっかけを作ること**



私が講師をする理由

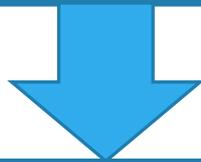
- 皆さんと類似の環境・立場の経験あり
 - 23年間 メーカー知財部勤務
- スリーエムでのカルチャーショック
 - 知財の知識と英語だけでは、意思疎通ができない
- 表参道カレッジ 講演者総合養成講座受講
 - プレゼンテーションのすべてを叩き込まれる
- 知財を経営に活かすサポートをするため起業
 - 2013年以降見向きもされなかった

知財を経営に活かす人財の育成

専門知識とコミュニケーション
スキルを備える知財人財



信頼され存在感（発言
力）のある知的財産部門



経営・事業戦略に沿った知
財戦略の立案・実行



1. イントロダクション

1.1 プレゼンテーションが重要な理由

- ・プレゼンテーションは「伝える力」（資料の作成ではない）
- ・ヒトラーもサッチャーも訓練を受けていた

1.2 知財・無形資産ガバナンスにおけるプレゼンテーションの位置づけと重要性

- ・トップは知財を知らない、知財部門は経営を知らない
- ・「分かりやすさ」と「正確さ」の間で葛藤する知財人

1.3 異文化コミュニケーション

- ・知財と非知財のコミュニケーションは異文化コミュニケーションと心得る
- ・分かりあうためには聞き手の文化により表現を選ぶ

2. 知財・無形資産ガバナンス実践のためのプレゼンテーションスキル

2.1 プレゼンテーションの構成

2.2 「誰に・何のために話すのか」が肝

2.3 各章の組み立て〈導入、本論、まとめ、Q & A〉

2.3.1 導入 -Introduction-

2.3.2 本論 -Main Body-

2.3.3 まとめ -Closing-

2.3.4 Q & A

2.4 仮想事例を用いたミニ演習

- ・知財戦略のステークホルダーへ知財活用事例を紹介する
- ・経営層へ I P L を用いて経営に資する知財状況を説明する

3. 知財・無形資産ガバナンス実践のためのプレゼンテーションの仕上げ

3.1 目的を達成する筋書の構築とアウトプットの練習

- ・筋書がコンテンツを活かす
- ・プレゼン上手は練習上手

3.2 目的を達成するための戦略的な話し方と所作（Web / 対面別）

- ・トーン、テンポ、間合い
- ・姿勢、目線（アイコンタクト）、手の動き

3.3 臨機応変に対応する力

- ・聞き手との言語/非言語コミュニケーション
- ・予想外の展開に動じない「自信」を育てる

4.まとめ

- 4.1 プレゼンテーションスキルの向上により得られるもの
- 4.2 プレゼンテーションスキルを鍛える方法
- 4.3 グローバルコミュニケーションのススメ
- 4.4 まとめ



5. Q&A

ありがとうございました。



時間の許す限り個別質問も受け付けます。

田中康子 Yasuko Tanaka 1990年3月千葉大学理学部（生化学）卒業

- ◆ 帝人、ファイザー、住友スリーエム（いずれも知的財産部）にて、国内外の多種多様な知財実務、プロジェクトマネジメント、知財教育プログラムの構築及び実践、各種仕組み作りを経験
- ◆ 2013年4月に知財コンサル会社「エスキューブ株式会社」を設立、同年8月に「エスキューブ国際特許事務所」を設立し、現在に至る

2017年度～ 国立大学法人 東京農工大学大学院 非常勤講師

2022・2023年度 獨協大学「全学総合講座」“企業の社会的責任と企業活動” 講師

2022・2023年度 知的財産権訴訟における専門委員

(元) 国立大学法人 富山大学 非常勤講師（2016年度前期）

(元) 日本弁理士会 知財経営コンサルティング委員会委員長(2015・2016年度)

(元) 日本弁理士会知財経営センター 副センター長 (2017年度)



エスキューブ株式会社/エスキューブ国際特許事務所の主な業務

<https://www.s-cubecorp.com/> （代理業務は、エスキューブ国際特許事務所の弁理士が行います）

- ◆ **コンサル** : 知財顧問、I P L、知財ガバナンス実践支援、医薬品特許・訴訟戦略・事前調整、契約（交渉・英語）、知財英語コミュニケーション指導、各種セミナー・企業内研修
- ◆ **調査業務** : 無効・異議資料調査、FTO調査、市場調査
- ◆ **代理業務** : 特許異議申立・無効審判・審決取消訴訟、特許侵害訴訟（補佐人）、出願権利化